

■第3回 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）策定委員会 会議録■

日時 : 平成20年8月26日（火）19時～21時
場所 : 武蔵野総合体育館大会議室（3階）
出席者 : 委員 本村清人、河上一雄、守屋るり子、大町洋、島本康子、本郷伸一、赤萩恵子、
和田明子、後藤信義、古矢武士、茨木信
欠席委員 : 金子俊治
: 庁内ワーキングチーム 柴田直子、鈴木早代子、大久保宏、谷まりこ、岡野行男
事務局 : 担当課職員 西川和延（生涯学習スポーツ課副参事）、茂木孝雄（生涯学習スポーツ課
スポーツ振興係長）
: コンサルタント 木藤直隆（株式会社 地域計画建築研究所）
傍聴人 : 2人

－ 議事要旨 －

□開会

□資料確認

本日の次第、「資料1 武蔵野市 スポーツ関連施設・公園・散歩道等 市内マップ」「資料2 地域別
主な事業の一覧」「資料3 世代ごとにみた主な課題と対応策について」「資料4 武蔵野市スポーツ
振興計画（仮称）基本方針について」「第2回策定委員会会議録」「生涯学習スポーツ課の事業概要
平成19年度版」

□会長挨拶

委員長 : 本日の策定委員会では、この間の策定委員会での議論を踏まえて事務局が作成した基本方
針案や課題等の整理について、アイデアも含めたご意見をいただきたい。

□議事

(1) 武蔵野市のスポーツ関連施設と地域別の主な事業について（資料1、資料2）

委員長 : 資料1について事務局の説明をお願いしたい。そのうえで、質問等の時間をとりたい。

事務局 : 「資料1 武蔵野市 スポーツ関連施設・公園・散歩道等 市内マップ」について、主に以
下の内容を説明した。

- ・前回の委員会でご意見いただいた市内の既存施設の立地状況等について、整理した。
- ・『平成15年版 武蔵野市地域生活環境指標』をもとに、市内にあるスポーツ関連施設、
公園、散歩道等の主な施設やルートを地図上に表記した。
- ・地域ごとに施設を見やすくするために、『武蔵野市都市マスタープラン（平成12年）』
の地域別構想エリアを参考に「吉祥寺地域」「中央地域」「武蔵境地域」の3つに区分を
おこなった。
- ・各地域の市立施設、体育室のあるコミュニティセンター、大小様々な公園、大学、民間
施設などの分布状況について説明をおこなった。

事務局 : 「資料2 地域別 主な事業の一覧」について、主に以下の内容を説明した。

- ・資料1で区分した3つの地域ごとに、地域でおこなわれている主な事業を抽出し、場所、

事業内容、対象等について整理した。

- ・主に体育施設（学校、総合体育館等）、コミュニティセンター、健康づくり関連、子ども関連施設、公園、地域のイベントの項目ごとに整理した。

委員長：まずは、「資料 1 武蔵野市 スポーツ関連施設・公園・散歩道等 市内マップ」についてご質問等ありましたらお願いしたい。

委員：資料 1 は、平成 15 年度の調査にもとづいているとの話だった。民間施設など最新の情報について、分かる範囲で教えてほしい。

事務局：資料 1 は、あくまでどのような施設が立地しているか、分かりやすく示すためのイメージ図として作成している。民間施設については、現在のところ追跡調査をおこなっていない。

委員長：資料 1 を見ると、確かに中央地域の部分に市立の体育施設は集まっているが、他の地域では民間施設がバランスよく点在しているように思う。民間スポーツとの連携協力も可能なのではないか。

委員：ボール遊びのできる公園の「ボール遊び」の定義はあるか。

事務局：明確な定義はない。公園という施設の性質上、スポーツ施設ではない。誰でも多目的に利用できることが大前提である。小学校低学年や幼児がボール遊びする程度のものを想定している。例えば、たくさんの幼児が遊んでいた場合、安全性など、利用者の立場でマナーを守って使用してもらう必要があると思う。

委員長：「ボール遊び」の定義をするのはなかなか難しい。

副委員長：資料 1 の地域別の区域はどのような考え方で分けしているのか。

事務局：『武蔵野市都市マスタープラン』のなかで示されている地域別構想の区域割りを参考に作成している。

副委員長：学校区などの視点から考えても住民が捉えている地域区分とは違うと思う。

事務局：資料 1 は、あくまで、区域を 3 圏に分けて目安として分かりやすく示したものである。

委員：この資料 1 は、市内全域の施設分布のバランスを見ている資料だと思う。今回の計画づくりの本質は、ソフトの部分をどのように工夫するかということだと思う。

委員長：資料 1 について、市立の施設については偏在している傾向が見えるが、その他の施設についてはそれなりにバランスがとれているように思われる。地域区分をしている点線については、削除したい。

また、今回の計画は、ハード面について追求していくような計画ではなく、主にソフトの部分について検討していく方向だと思う。

委員：市では、既に民間施設と連携している事業もある。その点も資料で分かると良いと思う。

委員長：「資料 2 地域別 主な事業の一覧」について、ご意見いただきたい。

委員：「扶桑通り公園」は、緑町でなく、けやきコミュニティセンターに隣接していると思う。

委員：武蔵野市立第一中学校の「一中フェスタ」は、学校の行事としておこなっているものであり、「地域のイベント」の項目にはあてはまらないと思う。また、先ほどの資料 1 の地域別区分と学区割りも少し違ってきている。

事務局：ご指摘いただいた「扶桑通り公園」「一中フェスタ」については、修正していきたい。

委員：学校施設開放というのは、すべての市立小中学校でおこなわれているのか。

事務局：学校の施設開放については、本日配布した『生涯学習スポーツ課の事業概要 平成 19 年

度版』の 52 頁から 54 頁をご覧いただきたい。基本的には、すべての小中学校で、団体登録をした団体について施設の開放をおこなっている。

委員長：全国的にみても小中学校の施設開放は進んできている。

委員：コミュニティセンターの活用状況について、どれだけの利用者がどのような利用をしているか分かるような資料はあるか。

事務局：コミュニティセンターについて、担当課にも確認しているが体育施設を持つコミュニティセンターの詳細な資料は無い。ただし、利用状況は非常に高いという話は聞いている。

(2) 世代ごとにみた主な課題と対応策について（資料 3）

事務局：「資料 3 世代ごとにみた主な課題と対応策について」について、主に以下の内容を説明した。

- ・対象となる世代を、子ども（未就学児、小学生、中学生、高校生）、成人（20 代～30 代、40 代、50 代）、高齢者（60 歳～75 歳、75 歳以上）という形で整理した。
- ・世代ごとに想定される課題や動機、その課題に対する対応について整理し記述した。
- ・市の現行事業については、比較的、高校生や 20 代～30 代をターゲットにした事業が少ないことが想定される。
- ・親子や家族という視点について、この世代区分のなかで同様に検討していきたい。
- ・障害者は、個々の障害の状況にかかわらず、世代ごとの年齢別で検討していきたい。

委員長：事務局から、世代別で見た場合、市の現行事業については高校生や 20～30 歳代のところが少ないという報告があった。

委員：指導面からみた場合、小学生、中学生でも発育・発達のスピードが違う。小学生でも、低学年（1・2 年生）、中学年（3、4 年生）、高学年（5・6 年生）で対応も変わってくる。

委員：小学生の低学年の場合、未就学児と同じように親のかかわり方が大きくなると思う。

委員長：2 通りの考え方がある。小学生、中学生、高校生と世代で分けするか、年代別で「0 歳からいくつまで」等のライフステージで追いかけて検討するか。小学生を考えた場合、ライフステージで区切るほうがより細かいかもしれない。

委員：動機のところにある仲間づくり、友人づくりについて文言の整理をお願いしたい。

副委員長：この世代別の課題や動機、対応策はどのような点を基準に検討されたのか。

事務局：昨年度実施した「武蔵野市スポーツ市民意識調査」のなかでも年齢で分けて調査をおこなった。その際の結果から、年代ごとに若干考え方や取組む姿勢が違っていることが分かった。策定委員会でイメージしていただくための資料として作成した。

副委員長：老人の定義は、65 歳以上から。定年制や年金の支給なども 65 歳以上で考えられている。高齢者のなかに 60 歳からを含めて良いのかどうか。

委員長：市でおこなっている現行事業で対象とする年齢層との整合も図っていく必要だと思う。

事務局：委員の皆さまのご指摘を踏まえ、改めて検討していきたい。

委員長：これまでは、比較的 60 歳から 75 歳で区切る資料がどこでも多かった。最近では、65 歳から区切ることが多くなってきた。この辺りの考え方も整理しながら検討していきたい。

(3) 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）基本方針について（資料 4）

事務局：「資料 4 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）基本方針について（案）」について、主に以下のような内容を説明した。

- ・第 1 回策定委員会で提出した「資料 3 スポーツ振興計画概要」を参考に、これまでの策定委員会でいただいたご意見を踏まえ、基本方針案を作成した。
- ・基本方針として、「既存施設の有効活用」「きっかけづくりの充実」「継続するための取り組み」「スポーツによる地域の活性化」を 4 つの柱として想定した。4 つの柱を支える計画の実効性の確保として、「情報提供の充実」「連携づくり」「スポーツ振興に関する支援」という形で整理した。また、基本方針の 4 つの柱と 3 つの実効性の確保について、想定される内容や取組みを記述した。
- ・次回の第 4 回策定委員会ではこの基本方針案をもとに整理した資料を提出したいと考えている。このような基本方針案の方向性で良いかご意見をいただきたい。

委員長：これまでの策定委員会、資料等も含めて事務局で検討した基本方針について説明いただいた。次回の策定委員会までに基本方針をさらに固めていくにあたって、アイデアやご意見をいただきたい。

委員：中学校の場合、先生の負担も多く、部活で指導者が少ないという話もあると思う。今回の計画では、このような話も含めて市と連動していくのかどうか。

事務局：基本的には、学校体育も含めて考えているが、どの程度計画で記述するかは分からない。現状、教育委員会の課題としても「部活動への支援」があり、試行している段階である。昨年度、市内の大学生に 1 年間、中学校と大学生との橋渡しの支援をおこなった。実際には、中学校のスケジュール（試験、行事、部活動）と大学生のスケジュール（試験等）を合わせることは、なかなか調整が難しい部分もある。学校自身も地域の教育力という視点から、地域のスポーツ経験者を生かすという形で取り組んでいる。学校部活動を進めていく際に重要なことであり、計画の中で記述していきたい。

委員：20～30 代、40 代の人にとって、教えるという立場もあると思う。人材の情報をネットワークできると良いと思う。「する」だけでなく「教える」のもスポーツだと思う。

委員：計画の実現性という視点から、いくつか質問等も含めて発言したい。

- ①未就学児から子どもを重視したい。仲間と遊ぶことも含めて成長を考えた施策が必要。
- ②高齢者世代に重点をおいたほうが活性化すると思う。
- ③今回の武蔵野市の計画でも成人のスポーツ実施率、数値を入れて良いのでは。
- ④スポーツの定義について、成人を含めて考えた場合、体を動かすことから良いと思う。
- ⑤競技スポーツの視点も必要だと思う。小学生も能力ある子は指導で伸ばしていきたい。
- ⑥この委員会の名称について、「（仮称）」をとることはできないのか。

委員：スポーツ振興にあたって、どこまで考えていけば良いのか。学校の授業まで考えるのか、部活動までなのか、分かりやすく考えると学校以外のスポーツ活動と整理する考え方もあると思う。今の中学校は部活動で学校を選べる場所もあると聞いている。学校で取り組んでいる内容との整合も必要だと思う。

委員：中学校の現状として、部活動も指導者が少なく開設できない部活も出てきている。平日の子どもたちが部活をする時間に、指導できる人がいるのか依然として大きな課題である。これらの課題については、教育委員会で別途検討すべき課題ではないか。今回の計画では、

市内の中学生という括りのなかで何ができるかという視点で考えると良いと思う。

委員：小学校は、部活はないが、スポーツ系と文化系のクラブ活動がある。教科体育の場合、いろいろな体の動かし方を経験するということが主であり、学校の休み時間の遊びなどもあると思う。今回の計画では、学校でおこなうものと少し整理してはどうか。

委員長：0歳から亡くなるまでライフステージで考えた場合、ちょうど、小中高だけが学校教育の期間である。基本的には、学校体育の教科体育部分は切り離すことになると思うが、スポーツ活動からみた部活動、中高の放課後の任意の活動は計画に入ってくるとされる。

委員：スポーツ振興事業団、生涯学習スポーツ課があるなか今回のスポーツ振興を検討している。計画の実効性の確保などどこまで可能なのか、現状のスポーツ振興事業団と学校との関係なども分からない。資料4は、事務局から出された案としての理解で良いか。計画の実効性の確保のなかの、連携づくりにある庁内の横断的なプロジェクトチームの設置など画期的なことだと思う。

事務局：資料4は、事務局で作成した案として理解いただきたい。第2回策定委員会で、市の関係各課の関連する現行事業をお示しした。例えば、高齢者支援課としては、健康や福祉という視点から取組んでいる事業がスポーツにつながっている。そのような取組みと連携がとれているのか、効果的な形で市民のためのスポーツ振興を図っていくことが大切であり、事務局の想いも含めて記述した。必ずしもすべてが計画に反映できるか現時点では分からない部分もあると考えている。

全体として、4つの柱と3つの実効性の確保をもとに構成しながら考えたいと思っている。

委員：人を育てるという視点も1つの柱として別立てして考えたほうが良いと思う。

現在、スポーツ振興事業団は、きっかけづくりを担っている。ステップアップをしていく場合の受け皿は民間のスポーツクラブになると思う。その際、今後の民間に関する情報収集も必要だと思うが可能かどうか。スポーツ振興事業団でも情報提供ができれば良い。

委員：計画の実効性、情報提供の充実という視点から、今後の定期的な情報や、イベントの結果、民間の情報なども含めた市報とは別のツールがあると良いと思う。

委員：継続するための取組みを実施する場所はどこになるのか、民間の施設だけでなく、各連盟、の団体など、気軽に入っていける場所や団体が分からない。卓球の場合、コミュニティセンターで取組んでいるところもあり、少しは情報として教えることができる。このような情報が他の種目でも分かると若い時にやったスポーツに再チャレンジする人もいると思う。

委員長：コミュニティセンターのホームページ開設状況はどうか。

委員：全てではないが、つくっているところもある。市民協働推進課を中心に統一のホームページをつくることも始めている。

委員：個人の参加について、総合体育館に登録している団体や学校施設開放をしている団体、スポーツ振興事業団、社会体育の団体などに情報を提供して良いか確認したうえで、年に何度か市民を迎え入れるための情報があると良いと思う。

委員：市外から来た人にとっての情報も足りないのではないかな。

委員：健康づくり支援センターを立ち上げた際に、生涯にわたって健康であるために、各団体等に情報提供を呼びかけ、情報を集めたこともある。

委員：20代から30代、40代は忙しいが、子育て中の人も体づくりはしたい。自宅でできるスポ

ーツなど気軽に体を動かせる取組みであれば可能だと思う。子どもが中学校や高校で運動部でない場合、親子でもできると思う。20代から30代、40代を対象とした事業も必要。

委員：例えば、スポーツ振興事業団のホームページで、在宅でできる情報を得ることができると良いと思う。

委員：きっかけになる。40代から60代になるにつれ、子育ても終わり、外出できる条件が整ってくる。

委員：障害者も健常者もいつでもどこでも誰でも気軽にできることが大切だと思う。高齢者の人も、健康づくりの視点から呼びかけていくことが重要だと思う。スポーツイベントの際には、できるだけ障害者が参加しやすい呼びかけをお願いしたい。また、東京都には、東京都多摩障害者スポーツセンター（国立）と東京都障害者総合スポーツセンター（王子）があるので、計画のなかで紹介してほしい。

委員：情報提供の視点から事務局をお願いしたい。各学校の部活動の状況や市の関係各課の関連事業、スポーツ振興事業団、コミュニティセンター等のPR資料があればコピーでも良いので、可能な限り提出願いたい。

副委員長：学校の部活動におけるスポーツ活動は、生徒の自主的な活動であり学校も関係してくる。今回の計画では、部活動とどのような形で連携していくかが課題であって、部活動でどのようなことがおこなわれているかまで知る必要があるのかどうか。また、中学校と高校では部活動の成り立ち方も違っている。部活動によっては特化した形で進められているものもある。どこまで計画のなかで記述できるのか難しい部分もあると思われる。

委員：委員長から部活動は視野に入れて検討していくというご発言があったので、実際に部活動は何があるのか現状分からないため、情報提供のお願いをしたところである。

委員長：市立中学校の部活動の運動系について、どんな部活動があるか情報提供をお願いしたい。

委員：小学生、中学生の年代は、その時期に運動をさせていないと発達成長していかないため大人になってからの運動ができていくこともあり、簡単に学校とは切り離せない。ヨーロッパには体育の授業はなく、それを地域のスポーツクラブが担っている。大きな視野で考えることが必要。学校の話題もあるかもしれないが、まちづくり、人づくりという視点で方向性は同じだと思う。まだ、この段階では総合的に考えていったほうが良いと思う。

委員長：スポーツ振興事業団はきっかけづくりというご発言があった。4つの柱は並列でないのかもしれない。まずは、「きっかけづくり」で「広げる」、「活かす」、「支える」、「つなぐ」という流れになるとも考えられる。構造的につくる可能性もあると思う。そのうえで、具体的な事業につなげていきたい。

事務局：先ほどご質問のあった「(仮称)」は、計画の名称が決まっていないことから、「(仮称)」という形で表記している。

委員長：本日は、具体的なお意見をいただいた。改めて事務局で整理していただき、次回も今後の提案内容について検討していきたい。

(3) その他

事務局：第4回策定委員会まで、1ヶ月ほど日程が空くので、中間報告に向けてある程度形を示したい。

事 務 局：次回策定委員会は、10月2日（木）で、18時からおこなう予定。

委 員 長：今後は、原則18時から20時で進めていきたい。それではこれで、本日の策定委員会を終了したいと思います。

次回、第4回策定委員会の日程 10月2日（木）

・会議 18：00～20：00（会場 武蔵野市役所 812 会議室）

以上